

令和6年度 第2回学校運営協議会議事録

静岡北特別支援学校 南の丘分校

1 日 時 令和6年7月11日(木) 午前10時から正午まで

2 参加者 校長、事務長、副校長、部主事、進路指導主事、教務課長

学校運営協議会委員 7人 (欠席 1人)

| 富士見学自治会連合会会長登呂二丁目自治会長 | 地域関係 |
|---|------------|
| 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 静岡支部静岡職業能力開発促進センター 所長 | 就労・障害者雇用関係 |
| 静岡市役所駿河区役所地域総務課地域防災係係長 | 防災関係 |
| 常葉大学教育学部講師 | 障害福祉・指導関係 |
| 法律事務所 弁護士 | 司法 障害福祉 |
| 南の丘分校 PTA会長 | |

3 内容

(1) 校長挨拶

6月14日(金)・15(土)の二日間、文化祭「駿光祭」が開催された。一日目のステージ発表では、南の丘分校一年生がトーンチャイムの演奏をし、大きな拍手と共に、演奏後「とても素敵だった。」「すごいね。」という率直な感想をたくさん聞くことができた。二日目の校内発表では、地域の方々からも南の丘分校の取組みに対する温かいお言葉をたくさんいただいた。

二日間の文化祭を通して、駿河総合高等学校・南の丘分校の生徒が同じ校舎で学ぶ仲間として認め合い、自然な形での共生共育の形が表れていたと感じる。

また、6月30日(日)には、高校野球連盟からお声掛けいただき、南の丘分校から代表生徒5人が高校野球静岡大会開会式での大会旗を掲げての入場行進をさせていただく経験ができ感謝している。

本日の学校運営協議会では、委員の方々から、忌憚のない意見をいただき、今後の教育活動につなげていきたいと考える。

(2) 授業参観

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1年 : ②③集中作業 「働くひとになるために」 | 内容 : 企業からの委託作業を実施 |
| 2年 : ②③職業 「職場実習の振り返り」 | 内容 : 職場実習の成果・課題の整理 |
| 3年 : ②国語 「川柳」 | 内容 : 夏季休業中の課題に向けての事前学習 |
| ③家庭 「ユニバーサルデザイン」 | 内容 : 誰にとっても住みやすい社会とは |

<参観の視点>・生徒の考え方、感じ方、表現の仕方

(3) 駿光祭報告(教頭より)

駿光祭のパンフレットには、両校生徒会長の言葉が載っている。一日目ステージ発表の開会式でも冒頭、両校生徒会長の言葉から文化祭が始まる。駿光祭は、共生共育としてとても貴重な場である。

駿光祭の来校者は1300人。地域サービス班のカフェにもたくさんの方々が足を運んでくださり、アンケート回答者は102人。少なくとも100人を超える方がカフェに来てくださったことになる。

栽培班は、駿河総合高等学校園芸部と同じ教室での発表、ジャガイモの販売を実施。

印刷班は、駿河総合高等学校・南の丘分校両校のクラスTシャツのデザインのうちわを作製し、販売。

工業デザイン班はピンバッヂ、ストラップ等、製品購入を楽しみにしていたお客様が開店時たくさんいらっしゃって、あっという間に完売した。

環境整備班は、工夫を凝らした道具展示コーナー、窓清掃の実演・体験コーナーを企画。来校者との関わりを楽しみながら、身に付けた清掃技術をお客様に伝える姿が見られた。

(4) 質疑応答を含め意見、感想等

B委員：二日目の校内発表では各作業班の販売等だけでなく、駿河総合高等学校福祉委員と南の丘分校一年生とのボッチャ交流のイベントもあり、駿河総合高等学校・南の丘分校とが、分け隔てなく文化祭に臨んでいるという雰囲気が感じられた。

A委員：二日目の校内発表では、この何年間かはコロナ禍のため地域との交流の機会も制限されていたが、今回の文化祭では、久しぶりの一般公開となり、地域の方々も楽しみにしていたお祭りであった。

地域サービス班の喫茶について、南の丘分校の先輩から受け継いだ喫茶・サービスのノウハウを大切にしていることが感じられた。またコーヒーを介して地域の方々との関わりも生まれるものである。今後もこの行事を継続していってほしい。

C委員：工業デザイン班の製品は人気で購入ができず残念だった。分校の発表場所が1階にまとまらず、2、3階に分散していたことで、いい意味で駿河総合高等学校と分け隔てなく共に取り組んでいる、という雰囲気が感じられた。来校者の方にも、駿河総合高等学校だけでなく、南の丘分校を見てもらえたのではないかと思われる。

D委員：今日の授業参観では、生徒一人ひとりが生き生きと活動している様子を見ることができた。

また、文化祭の報告を受け、各作業班の活動報告は、例えば、発表している生徒自身がどのような学習過程で現在に至っているかにフォーカスしたものになると、支援・指導について課題や悩みを抱えている支援学級の先生方等、南の丘分校の教育活動に興味をもった方々が、南の丘分校を起点として、「共生共育とは何か」、「自立とは何か」を考え、共有できる場となる。

F委員：5年ぶりの一般公開となると、様々な業界で課題となっているような、これまでのノウハウの引継ぎがどのようになされたのか、お聞きしたい。

⇒昨年度は一般公開なしで関係者のみに限定公開した文化祭であったため、今年度の一般公開になる前段階として、今までの方法を踏襲する発表はでき、それまで受け継いできたものを確認することはできていたと思われる。

⇒持続可能な教育活動の遂行のため、基本を引き継ぎながら、コロナ禍前と全く同じではなく、バージョンアップした形で残していくようにしていきたい。

行事としては、今回の駿光祭を経て、2月の「南の丘商店街」で、作業学習の集大成の発表ができる場があるため、たくさんのお客様に製品を届けるための量産の仕方について考えたい。また夏季休業中に南の丘分校の現在の作業学習とこれからの中の作業学習について考え、校内外の資源やヒントを整理し、静岡市の産業や良さを取り入れながら南の丘分校にしかできない作業学習について協議したり教材研究したりする機会があるので、その機会を大切にしていきたい。

F委員：今日の授業参観で、ある生徒に質問したときに職場実習の中で南の丘分校の卒業生との関わりがあり、分からぬことを教えてもらったと言っていた。文化祭の報告も受け、分校内の縦のつながり、また駿河総合高等学校との横、斜めのつながりを改めて感じた。

E委員：一般公開の教室発表では、生徒が日頃の学習の成果を発表するため、またお客様に楽しんでいただくための企画が考えられていた。

A委員：今日の授業参観でとてもうれしいことがあった。3年生が昨年度の防災学習で、地域の防災の取組みについてまとめたり報告したりしたときに関わりのあった生徒が、自分の名前を覚えていて、生徒の方から声を掛けてくれた。今年度の地域に出向いての防災に関わる学習の取り組みにも期待したい。

(5)まとめ、御礼の挨拶(校長より)

本日の学校運営協議会のキーワードは「つながり」。生徒個人にフォーカスした発表の視点はとても参考になった。中・高との接続、通常級に在籍する特別な支援を必要とする子どもたちも居る。障害のある子どもたちの支援・指導や進路選択などについて様々な人とつながりながら研修を進めていきたい。

改めて、今後、現在の南の丘分校の取組みを見直し、深め、作っていく試みの中で、分校内で気付いていない視点へのアドバイスなどを委員の方々から、また委員の方々を介して学校の外とつながってたくさんの御意見等をいただけたらありがたい。

- ・次回開催日時：11月25日(月)午前10時から正午まで

